

忠南大学交換留学プログラム募集要項 (2026 年秋学期派遣)

【忠南大学について】

1952 年設立。韓国中部・大田（テジョン）市にある国立大学。2017 年 11 月に本学と大学間交流協定を締結し、これにより忠南大学との交換留学を開始することとなった。人文学部、社会科学学部、自然科学学部等、計 16 学部を有する総合大学。

忠南大学 HP: <https://plus.cnu.ac.kr/html/en/>

【プログラム概要】

- (1) 派遣先：忠南大学（韓国・大田市）
- (2) 派遣期間及び時期： 半年：2026 年 8 月下旬～2026 年 12 月下旬
1 年：2026 年 8 月下旬～2027 年 6 月下旬
※渡航後の派遣期間の変更は原則不可
- (3) 派遣人数：全学で 2 名
- (4) 派遣対象：①全学部・全研究科
②現地の学生と共に受講するのに十分な韓国語能力または英語能力を有する学生
③交換留学生として意欲や自覚のある学生

【応募・選考スケジュール】

- (1) 応募締切：2026 年 4 月 20 日（月）17 時まで
- (2) 提出書類：①所定の申請書（写真貼付）、②成績証明書、③誓約書
※申請書・誓約書は大学ホームページまたは学務情報システムよりダウンロード可能
（大学 HP トップページ：国際交流・留学→在学生の方へ→留学の種類→現在募集中のプログラム）
- (3) 応募方法：提出書類を応募締切までに国際交流センターに提出
- (4) 選考基準：語学力、学業成績、交換留学生としての自覚や人格
（現地ででの交流活動にも積極的に取り組む行動力と積極性など）
- (5) 選考・申請手続きのスケジュール：応募締切後に、学内面接にて候補生を選考
学内面接：4 月下旬～5 月上旬予定（面接日時・場所については、別途メールで通知）
申請書類作成：候補生に選ばれた学生は、大学指定の申込用紙および諸手続きの書類に記入し、指定された期日までに国際交流センターに提出すること。

【費用及び現地での滞在先等】

- (1) 授業料：忠南大学への授業料は免除（ただし、本学へは授業料を納入すること）
- (2) 渡航費：後援会の奨学金支援の対象となります（学部生に限る、在学中一回のみ）。支給にあたっては審査があります。
- (3) その他の費用（滞在費、保険料、ビザ申請料など）：自己負担
※保険については学研災付帯の海外旅行保険に加入していただいています。

(参考) 滞在費の自己負担費用の目安

- ・ 平均生活費 6ヶ月滞在 USD7,000 USD
- ・ 申請時提出書類に、派遣学生または保護者の銀行口座残高証明書（半年滞在でUSD4,000、1年滞在でUSD8,600）が必要

(4) 滞在先：学生寮

2～3人部屋；KRW 1,400,000～1,500,000/学期

※食事付

※学期の前後や休暇中は別途寮費を支払う必要あり

[設備]

ベッド（枕・毛布等は各自用意）、机、椅子、クローゼット、本棚あり

寮内に、ジム、洗濯室、カフェ、文具用品店、コンビニ、食堂ホールなどあり

(5) パディー制度：有

※現地の学生が日常生活や授業のことなどをサポートしてくれる制度

【単位・学籍】

(1) 履修可能な科目：

留学生向け韓国語クラス（条件あり）や、英語で受講可能な授業あり。

(2) 単位認定：派遣先で修得した単位の認定については、各学部の定める手続き・規定に従うもの。

※帰国後の単位認定は本学の各学部・研究科によって行われるため、本学で単位認定できない科目もあるので事前に相談すること。

(3) 学籍：学籍状態は「在学」のまま、派遣期間は本学での在学期間に算入される。

派遣先で修得した単位は必ず認定されるとは限りません。卒業や進級に関わる場合もあるため、留学期間も含めた履修計画について、あらかじめ指導教員や各所属の教務担当者によく相談した上、応募してください。

【注意事項】

- ◆ 交換留学生として派遣される学生は、名古屋市立大学危機管理対応マニュアルに則り、万が一の事故に備えて、派遣前に緊急連絡先等の詳細を各学部の教務担当窓口へ提出してもらうほか、滞在中の危機管理等について説明を行います。
- ◆ 帰国後、報告書の提出や国際交流センター主催の留学フェアへの参加等のご協力をお願いします。

【お問い合わせ】

国際交流センター（滝子キャンパス 3号館 1階）

TEL: [052-872-6315](tel:052-872-6315) Email: ryugaku@sec.nagoya-cu.ac.jp